

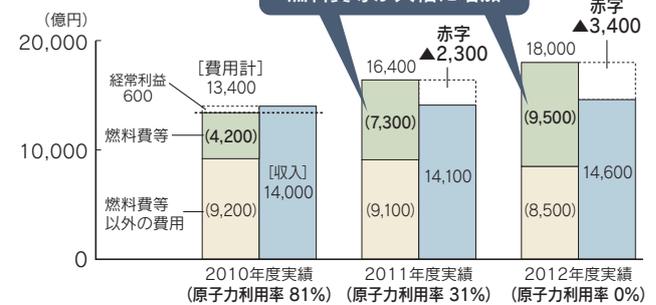
電気料金の値上げについてご説明します

原子力発電所の停止に伴う燃料費等の増加により、 財務状況が悪化したため、電気料金の値上げをさせていただきました

2012年度の収支状況は、緊急経営対策として1,750億円規模のコスト削減を実施したにも関わらず、▲3,400億円の赤字となりました。

これに伴い、当社の財務状況は急速に悪化しており、このままでは、資金調達にも支障をきたし、当社の基本的使命である電力の安定供給が困難になるおそれもあったことから、やむを得ず、電気料金の値上げを実施させていただきました。

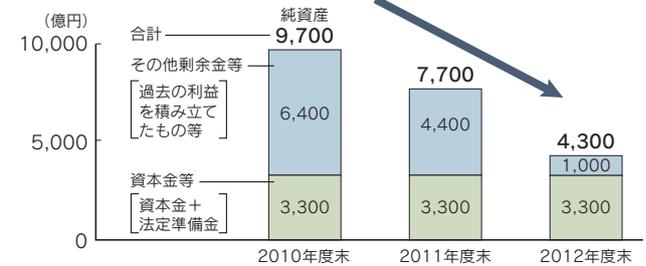
【収支の推移】



【電気料金の値上げの内容】

	(円/kWh)		
	新単価	旧単価	値上げ率
ご家庭や店舗など低圧[100V、200V]の電気をお使いのお客さま	21.14	19.90	6.23%
工場やビルなど高圧の電気をお使いのお客さま	14.49	12.94	11.94%

【純資産の推移】



経営効率化に継続的に取り組み 全国的には低い料金水準を保っています

ご家庭向け電気料金については、2013年5月に値上げを実施させていただきましたが、徹底的な効率化を行うことで全国で2番目に低い料金水準を保つことができています。

引き続き、ステークホルダーの皆さまにご理解・ご協力をいただきながら、徹底した経営効率化に取り組んでいきます。

【ご家庭の電気料金の比較】

契約電流：30A、
使用電力量：300kWhとして算定



※2012年7～9月の貿易統計価格に基づく燃料費調整額、消費税等相当額、再生可能エネルギー発電促進賦課金及び太陽光発電促進付加金を含む
 ※関西・九州は認可料金、北海道・東北・四国は申請料金、北陸は2013年7月実施の届出料金で算定(2013年5月末現在)
 ※東京・中部・北陸・関西・中国・四国・九州については、口座振替割引を含む

【料金原価に織り込んだ効率化の金額】

項目	2013～2015年度平均	主な取組み内容
人的経費	▲480億円	・役員報酬の削減 ・年収水準の引き下げ ・福利厚生の見直し ・健康保険の事業者負担割合の引下げ ・採用の抑制
需給関係費(燃料費など)	▲180億円	・燃料調達コストの低減 ・購入電力料のコスト削減
修繕費	▲320億円	・点検周期の延伸化 ・修繕工事の中止・繰延べ・規模縮小 ・競争発注の導入拡大
減価償却費(設備投資)	▲230億円	・設計基準、仕様の見直し ・工事中止・繰延べ・規模縮小
その他経費(諸経費など)	▲220億円	・業務委託範囲・内容の見直し ・普及開発関係費、団体費、研究費等の中止・繰延べ・規模縮小 ・競争発注の導入拡大
合計	▲1,400億円規模	

※なお、電気事業の運営に直接係わるもの以外の資産の売却(総額140億円以上)にも努めていきます。